



YMNだより

令和7年2月9日 第94号
発行 やまがたメイカーズネットワーク
(略称: YMN代表 大津 清)
那須電機株式会社内 YMN 事務局

流域治水オフィシャルサポーター交流会で YMNポスターを展示

去る令和6年11月22日(金)13:30～16:00にビジョンセンター赤坂及びWebにおいて、流域治水オフィシャルサポーター交流会が国土交通省治水課主催で開催されました。プログラムの内容は次の通りです。

- 13:30～13:40 開会挨拶
- 13:40～13:55 流域治水の動向などについて(国交省)
- 13:55～15:00 取組発表(流域治水オフィシャルサポーター) 発表・意見交換(5分×6団体+30分質疑応答)
- 15:00～16:00 ポスター展示(40団体程度)、自由交流

YMNでは、Web会議にて参加し、ポスター(A1版)1枚を展示しました。

最近では、毎年のように全国的に大きな水害が発生しており、関心度が高く、実践的な取り組みの内容でした。会社や団体の強みを生かして流域治水の取り組みを工夫して実践していることに感銘を受けました。



ソーラーパネル製作講習会出前授業 ～ソーラーパネルで世界に一つだけの宝石箱を作ろう～

来る令和6年12月12日(火)13:30～天童市立干布小学校において、「ソーラーパネル製作講習会出前授業～ソーラーパネルで世界にひとつだけの宝石箱を作ろう～」を開催いたしました。この事業は、山形県立村山産業高等学校電子情報科の佐藤和彦先生と生徒4名のご協力をいただき、公益信託荘内銀行ふるさと創造基金の助成を受けて、YMNが実施するものです。

目的は、手作りソーラーパネルなどのものづくりを通してソーラーパネルや発電のしくみを知り、持続可能な社会の実現性の大切さやアイデアを形にすることをねらいとしています。

宝石箱のふたを開けるとソーラーパネルで発生した電気でオルゴールがなります。箱には、思い思いのシールや絵を描いて、オリジナルの宝石箱が完成です。

子どもたちは楽しみながら作っていました。ソーラーパネルに太陽の光線をあてる子どももでて、興味をもったようです。

村山産業高校の皆さん、干布小学校の皆さん、ありがとうございました。



山形工高「ヒョウ頭骨レプリカを博物館へ贈呈」

去る令和6年12月24日(火)13:00より山形県立博物館で頭骨レプリカの贈呈式が行われました。山形工業高校高橋良治校長はじめ金先生や博物館の担当の方々の見守る中で、山形工業高校情報技術科の生徒2名より、山形県立博物館齋藤祐一館長様へヒョウの頭骨レプリカ3体を贈呈しました。

このレプリカの制作は、3Dスキャナーを使用して、動物の頭骨のデータを作り、3Dプリンターによって、レプリカを作成しています。さらに、紙ヤスリで表面を磨き、塗装を行ったものです。素晴らしい出来映えでした。完成前に、博物館の担当の方にアドバイスをいただいたことも良かったと思います。今後も継続して、取り組めることができればうれしく存じます。

山形工業高校の皆さん、博物館の皆さん、ありがとうございました。

・「これがヒョウ頭骨 山形工高生 レプリカ3体作製 県立博物館に寄贈」2025.1.5付山形新聞掲載

